

オフィス

CIC Tokyo

Organically and sound-absorbing designed workspaces for start-ups.



Starting Point

世界の8都市にイノベーションセンターを展開するCIC（ケンブリッジイノベーションセンター）が、アジア初となる拠点を東京につくるプロジェクト。スタートアップ企業にワークスペースと、ビジネスの成長とグローバル展開のためのコミュニティやサービスを提供しています。

虎ノ門ヒルズビジネスタワーという四角形の強いグリッドを持つユニバーサルスペースに、どのようなかたちで生命感あふれるアベイラブルな場（人が活かされる場）をつくることができるかが考えられた。全体の構成は、ひとびとが集まるテナントエリア中央に上下階を繋ぐオープンな階段とイベントを毎週行うベンチャーカフェを設け、そこを起点に回遊性のある動線と、15階にはROJI CORNER（ロジコーナー）を設けた。さらに成長や分裂等を繰り返すCELL（細胞）のようなスペースを考え、15階ではその構築方法に有機的の形状を採用した。屈折した廊下は不均一な光の明暗が作り出され、見通しが利かない、歩き進むことで新たな発見や偶然な出会いを創出する空間である。

Solution

スタートアップ企業のための場所として、建築家は自然の「細胞」のシステムからインスピレーションを得て、細胞が有機的につながった空間をつくり出しました。個々のCELL（細胞）はいわゆる個室で、形や大きさはそれぞれ異なります。天井から吊ったファブリックは、連結の役割を果たすと同時に、吸音効果もあります。各セルは廊下でつながっており、廊下にはロジコーナー（ROJI

Object

CIC Tokyo, 東京, 日本

Concept

CIC + 小堀哲夫建築設計事務所, 東京, 日本

Photos

Takahiro Arai / ©CIC & Tetsuo Kobori Architect

CORNER)を設置し、ワークスペース、ミーティング、ディスカッション、リラックスなど、さまざまな使い方ができるようになっています。カーテンは、これらのコーナーの多様な使い方をサポートしています。

生地は出来るだけ生地の風合いが出ているものが検討された。また、建物の内装の仕上げ全て不均一なものを選定し、工業的なイメージを出来るだけ無くすよう配慮された。そのなかで不均一で生地の風合いのあるロールスクリーン用の生地 Sinfonia R(シンフォニアR) が天井に採用された。



商品

SINFONIA CS VI R

Art.-No: 0170300

商品カテゴリー: ロールスクリーン

色数: 13

組成: 100% 難燃ポリエステル (Trevira cs)

生地幅: 275 cm

特記事項: 制作最大サイズ W230x300cm

重さ: 74 g/m²

耐光堅牢度: 5-6